

Catalysis Society of Japan

第119回 触媒討論会 特別シンポジウム

主催：触媒学会

協賛：触媒工業協会、日本エネルギー学会、日本化学会、
日本製薬工業協会（予定）、日本プロセス化学会、日本薬学会、
フロー精密合成コンソーシアム、有機合成化学協会

日時：平成29年3月22日（水）14:30～17:30

会場：首都大学東京南大沢キャンパス触媒討論会会場にて
（東京都八王子市南大沢1-1）

触媒学会では、第115回と第117回触媒討論会に引き続き、第119回触媒討論会でも特別シンポジウムを開催します。注目度の高いテーマや他分野との境界領域のテーマを選定し、各領域で活躍されている産学官の第一人者の方々にご講演をお願いしています。今回は「CO₂低減・活用を支える触媒技術」および「医薬品精密合成プロセスに貢献する触媒化学」の二つのテーマについて開催します。本企画が、各界の研究者の交流を一層促進して、革新的な成果を生み出す"触媒"となるよう、積極的なご参加をお願いします。



テーマ1

【CO₂低減・活用を支える触媒技術】

- 14:30～14:35
趣旨説明
(地球環境産業技術研究機構)高木 正人
- 14:35～15:10
CO₂排出削減の動向とCO₂活用技術
(地球環境産業技術研究機構)高木 正人
- 15:10～15:45
非ホスゲン法ポリカーボネート製造プロセスの開発
(旭化成)東條 正弘
- 15:45～16:20
遷移金属触媒を用いた二酸化炭素との炭素-炭素結合形成反応の開発
(東京工業大学)岩澤 伸治
- 16:20～16:55
触媒法バイオマス変換の現状と展望
(北海道大学)福岡 淳
- 16:55～17:30
人工光合成開発の現状と将来展望
(東京理科大学)工藤 昭彦

テーマ2

【医薬品精密合成プロセスに貢献する触媒化学】

- 14:30～14:35
趣旨説明と開会挨拶
(首都大学東京)野村 琴広／(東京大学)尾中 篤
- 14:35～15:20
医薬品の連続生産 - 展望と課題及びGSKアプローチ(仮題)
(グラクソ・スミスクライン)岡崎 公哉
- 15:20～15:55
連続精密合成を指向した不均一系触媒反応の開発
(岐阜薬科大学)佐治木 弘尚
- 15:55～16:30
均一系触媒を用いる連続フロー商業生産
(高砂ケミカル)齊藤 隆夫
- 16:30～16:55
環境調和型のファインケミカルズ合成に向けた高選択的不均一系触媒の開発
(大阪大学)水垣 共雄
- 16:55～17:30
触媒的C-H活性化反応を活用する医薬品製造プロセスの研究事例
(大日本住友製薬)黒田 貴一

参加申込方法：事前申込の必要はありません。

当日、第119回触媒討論会総合受付にお越しください。

その他：詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.shokubai.org/meeting/index.html>

問合先：触媒学会 事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館3階

電話：03-3291-8224 / E-Mail：catsj@pb3.so-net.ne.jp

